

滋賀バイオ産業推進機構
平成18年度 第3回理事会

平成19年(2007年)3月15日(木) 15:00-17:00
プエルタ大津会議室

1. 開会

2. 議事

議案第1号(協議事項):平成18年度補正予算(案)について

議案第2号(協議事項):平成19年度事業計画(案)について

議案第3号(協議事項):平成19年度収支予算(案)について

議案第4号(協議事項):役員を選任(案)について

3. その他

4. 閉会

滋賀バイオ産業推進機構 役員

任期:平成18年2月10日～平成19年3月31日

区分	所属、役職等	氏名	第3回理事会 出欠
会長	滋賀県知事	嘉田由紀子	欠
副会長	奈良先端科学技術大学院大学名誉教授	山田康之	欠
副会長	滋賀県商工会議所連合会会長	宮崎君武	欠
理事長	石川県立大学生物資源工学研究所教授	熊谷英彦	出
副理事長	滋賀県商工観光労働部長	河本光明	出
理事	洛東化成工業(株)代表取締役社長	浅田博史	出
理事	滋賀医科大学生化学・分子生物学講座教授	大久保岩男	出
理事	長浜市助役	加藤誠一	欠 委任状
理事	お茶の水女子大学学長	郷 通子	欠 委任状
理事	(株)I . S . T 取締役CEO	阪根信一	出
理事	慶應義塾大学医学部分子生物学教室教授	清水信義	出
理事	長浜バイオ大学学長	下西康嗣	出
理事	(財)サントリー生物有機科学研究所副理事長	田中隆治	出
理事	立命館大学理工学部応用化学科教授	谷口吉弘	出
理事	滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科教授	長谷川 博	出
理事	(社)滋賀経済産業協会会長	廣瀬一輝	欠 委任状
理事	特定医療法人社団御上会野洲病院理事長	福井淳博	欠 委任状
理事	有限責任中間法人バイオビジネス創出研究会代表理事	森 建司	欠 委任状
監事	関西電力(株)滋賀支店長	清水 徹	出
監事	(株)滋賀銀行専務取締役	大道良夫	出

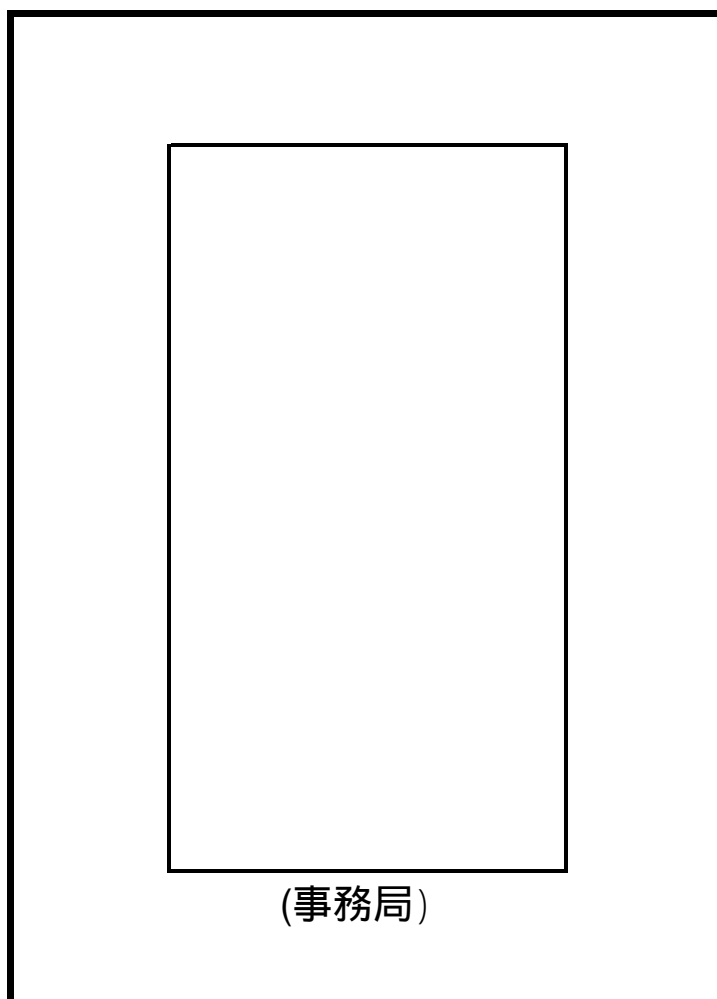
平成18年度 第3回理事会 配席図

河本副理事長

熊谷理事長

浅田理事
大久保理事
阪根理事
清水理事
下西理事

田中理事
谷口理事
長谷川理事
清水監事
大道監事



(事務局)

川瀬主査

中山事務局長

廣脇副参事

松本主査

第1号議案

平成18年度収支補正予算(案)

1 収入の部

単位:千円

区分	当初 予算額	補正額	補正後 予算額	摘要
会費収入	1,000	410	1,410	会費収入の増
負担金 収入	17,420	5,798	11,622	参加負担金等の増 1,950 2,056 (106) 県負担金の減 15,470 9,566 (5,904)
合計	18,420	5,388	13,032	

2 支出の部

単位:千円

区分	当初 予算額	補正額	補正後 予算額	摘要
管理費	4,107	1,442	2,665	会議費 1,352 757 (595) 事務費 2,755 1,908 (847)
事業費	14,313	3,946	10,367	人材交流育成事業 1,181 977 (204) バイオビジネス基礎セミナー 総会記念講演会 産学官連携促進事業 10,430 8,059 (2,371) 研究・技術交流会 先進事例見学会 県内バイオ研究発表会 第3回びわこバイオ国際セミナー 情報収集提供事業 898 778 (120) バイオ情報の収集提供 県内外への情報発信 普及啓発事業 1,804 553 (1,251) 県民啓発シンポジウム等 高校生バイオテクノロジー体験セミナー
合計	18,420	5,388	13,032	

滋賀バイオ産業推進機構 18年度補正予算案（第3回理事会）

補正の理由

理事会、各運営委員会での協議結果や理事との協議をふまえ、諸事情に対応して効率的な予算執行に努めた結果、次のような事情が生じたので補正する。

（収入）

収入の減（5,388千円）

（1）会費

・企業会員の増加（予算50者 見込み72者）による増（410）

（2）参加負担金等

・バイオジャパン2006への出展につき共同出展者から負担金を徴収したこと等による増（106）

（3）県負担金

・上記収入の増、下記支出の減に伴う県負担金の減（5904）

（支出）

1. 管理費の減（1,442千円）

（1）会議費

・理事会や部会運営委員会をセミナーと同時に開催したこと、総会に大学施設を利用したこと等による、報償費、旅費、使用料賃借料の減等（595）

（2）事務費

・事務所における需用費、役務費、使用料賃借料の節減等による事務局費の減等（847）

2. 事業費の減（3,946千円）

（1）人材育成事業

・総会記念講演会の報償費の減等（204）

（2）産学官連携促進事業

・研究技術交流会の需用費の節減、国際セミナーの海外講師の減による報償費、旅費の減等（2371）

（3）情報収集・提供事業

・旅費の減等（120）

（4）普及啓発事業

・会場費の節減、県関連事業との共催による報償費の減等（1251）

平成18年度事業の実施状況 (平成19年3月15日現在)

組織の管理運営

1. 理事会等の開催

区分	月日	場所	出席者等
・総会	6月23日	長浜バイオ大学	会員69人
・第1回理事会	6月23日	長浜バイオ大学	理事14人、副会長1人、監事2人
・産業化推進部会運営委員会 第1回	8月21日	彦根勤労福祉会館	委員5人
第2回	1月30日	北びわこホテル	委員6人
・研究技術交流部会運営委員会 第1回	5月30日	ライズビルつがやま	委員・参与7人
第2回	9月26日	滋賀医科大学	委員・参与13人
第3回(予定)	3月16日	瀬田アーバンホテル	
・普及啓発部会運営委員会	3月1日	プエルタ大津	委員4人
・企画運営会議(第1回)	1月18日	プエルタ大津	理事長等4人

2. 会員の拡充

会員数(平成18年2月28日現在)

通常会員(企業等)	71者
学会会員(大学・研究機関、学識経験者等)	82者
公益会員(公共団体、公的団体等)	73者
	合計226者

事業の実施

1. 人材育成交流事業

(1) バイオビジネス基礎セミナー

日時	場所	テーマ等	参加者
8月21日	彦根勤労福祉会館	「地域資源と自社技術を活かしたバイオ産業の創出」	70人
1月30日	北びわこホテルグラツィエ	「バイオビジネスマッチングin長浜」	64人

(2) 総会記念講演会

日時	場所	テーマ等	参加者
6月23日	長浜バイオ大学	「第3期科学技術基本計画ライフサイエンス分野別戦略について」	会員69人

2. 情報収集提供事業

(1) バイオ情報の収集・提供

セミナー等への参加、企業訪問等

「滋賀バイオ産業推進機構会員メール」でイベントや補助金情報等を提供(1~15号発行)
会員企業、研究者等の情報を収集整理し、ホームページ上の「バイオポータルサイト」に掲載。

(2) 県内外への情報発信

区分	日時	場所	内容等
BioJapan2006 出展	9月13日 ～15日	大阪国際会議場	機構、滋賀の取り組みのPR、会員企業のPRなど
第9回びわこ環境ビジネスメッセ出展	10月25日 ～27日	長浜ドーム	機構、滋賀の取り組みのPR、会員企業のPR、一般への普及啓発

3. 産学官連携促進事業

(1) 研究・技術交流会

区分	日時	場所	テーマ等	参加者
第1回	5月30日	ライズピルつがやま	「バイオと食の可能性 - キノコ・健康食品 - 」	63人
第2回	9月26日	滋賀医科大学	「ES細胞と再生医療の未来」	66人
第3回	10月26日 ・27日	長浜バイオ大学	「アクアゲノムシンポジウム inびわ湖」	95人(シンポ)
第4回	3月16日 (予定)	瀬田アーバンホテル	「バイオに活かす機械・電子技術」	

(2) 先進事例見学会

日時	場所	テーマ等	参加者
2月16日	彩都、クリエイション・コア京都御車	視察、ミニシンポジウム等	18人

(3) 県内バイオ研究発表会

日時	場所	テーマ等	参加者
12月20日	長浜ロイヤルホテル(第3回びわこバイオ国際セミナーと同時開催)	県内大学のバイオ研究のポスター展示	国際セミナーに同じ

(4) 第3回びわこバイオ国際セミナー

日時	場所	テーマ等	参加者
12月20日 ～22日	長浜ロイヤルホテル、曳山博物館 長浜バイオ大学、長浜バイオインキュベーションセンター(視察)	「ゲノムから産業へ - 創薬・医療への新たなアプローチ」	受講者41人 学生45人 関係者65人

4. 普及啓発事業

(1) 県民啓発シンポジウム等

日時	場所	テーマ等	参加者
11月18日	コラボしが21	「バイオでわかる伝統食品と健康」	100人

(2) 高校生のためのバイオテクノロジー体験セミナー

日時	場所	テーマ等	参加者
12月16日	滋賀県立大学	「DNAを見てお米の品種を当てよう」	16人

第 2 号議案

平成 19 年度事業計画（案）

滋賀バイオ産業推進機構は、びわこバイオステージ構想に基づき、旧 3 組織の成果を活かしながら、人材育成、情報提供、産学官連携促進の場づくりを中心にバイオ産業の振興に向けて取り組んできた。また、県の経済振興特区、長浜バイオネットワークとも連携し、長浜を一つの拠点として県全体のバイオ振興を図っている。

こうした中、最近ではバイオ関係者の参画・交流の進展、大学の研究開発機能の充実、長浜バイオインキュベーションセンターでの事業化の進展などが見られつつある。

これらの状況を踏まえ、平成 19 年度においては、バイオ企業・大学と地域企業との一層の連携促進、滋賀のバイオビジネス情報の発信充実を進め、ビジネス創出や販路開拓などの、より事業化に向けた取り組みを、滋賀県、（財）滋賀県産業支援プラザ、近畿バイオインダストリー振興会議等、県内外の関係組織と連携を図りつつ、効果的効率的に進めることとする。

．組織の管理運営

1．理事会等の開催

当機構の運営方針、事業計画・事業報告、収支予算・決算等必要な事項を審議・決定し、事業の企画・運営等を行うため、各種会議を開催する。

- ・総会（年 1 回開催予定：6 月頃）
- ・理事会（年 2 回予定：6 月、3 月頃）
- ・部会運営委員会等（それぞれ年 2～3 回程度予定）

2．会員の拡充と相互交流の促進

県内のバイオ関係者の幅広い関係者の参画を得、事業を充実するため、会員の勧誘に努めるとともに、会員の研究、事業等に関する情報を整理し会員相互の交流に資する。

．事業の実施

1．産学官連携促進事業

（1）バイオビジネス基礎セミナー

一般の中小企業者等を対象に、バイオ産業への参入を促進するため、バイオテクノロジーやビジネスに関する基礎的な知識や参入事例等を紹介し、あわせて県等のバイオ産業の支援策について情報提供するためのセミナーを行う。（1 回）

（2）研究・技術交流会

研究者、ビジネス関係者等を対象に、滋賀で研究開発、事業化が期待できるようなバイオテクノロジーやビジネスのテーマを中心に、新たな知見・事例を紹介するとともに、関係者相互の情報交流や意見交換の場を提供し、研究会や新たな共同プロジェクトの立ち上げなどに向けたきっかけとするためのセミナーを行う。

（3 回）

(3) 先進事例見学会

研究者、ビジネス関係者等を対象に、研究開発や事業化に役立てるため、県内外の先進的な施設や取り組み事例を見学する会を行う。(1回)

(4) びわこバイオ国際セミナー

研究者、ビジネス関係者等を対象に、滋賀で研究開発、事業化が期待できるようなバイオテクノロジーやビジネスについて、世界の最先端の知見や事例を紹介し、また国内外の関係者と連携を深めるため、大学等と協力しセミナーを行う。(1回)

2. 事業化促進事業

(1) バイオビジネス展示交流会

会員企業やインキュベーションセンター入居企業等を対象に、研究者、企業との連携による製品開発、販路開拓等を促進するため、それぞれのビジネスのプレゼンテーションや展示などを行うイベントを開催する。(1回)

(2) 情報収集・提供事業

産学官の連携の促進や事業化の促進を図るため、会員企業、機関等の研究開発、ビジネス活動の状況や、補助金等の支援策等の情報を、訪問やセミナーへの参加等により収集・整理するとともに、ホームページや会員メール等により情報提供を行う。(随時)

(3) 販路開拓・情報発信事業

会員企業やインキュベーションセンター入居企業等の販路開拓等を促進するとともに、企業立地にも資するため、Bio Japan 2007やびわ湖環境ビジネスメッセ2007などへの出展等により、滋賀からの情報発信を行う。

3. 県民普及啓発事業

(1) 県民啓発シンポジウム等

一般県民等を対象に、バイオテクノロジーやビジネスに関する正しい理解とその有用性の認識を促進するため、シンポジウムなどの啓発イベントを行う。(1回)

(2) 高校生バイオテクノロジー体験セミナー

次世代を担う高校生等を対象に、実験などの体験を通じてバイオテクノロジーに対する正しい理解を深め、学習や就職に向けた関心を高めるため、セミナーを行う。(1回)

4. その他関連事業

本機構の目的を達成するため、関係機関との共催・後援事業の実施、会議、イベント等への参加などを行う。(随時)

第3号議案

平成19年度収支予算(案)

1 収入の部

単位:千円

区分	予算額	摘要	
会費収入	1,400	会費(通常会員 20千円×70会員)	1,400
負担金収入	12,527	参加負担金、その他負担金	827
		県負担金	11,700
合計	13,927		

2 支出の部

単位:千円

区分	予算額	摘要	
管理費	3,717	会議費	1,401
		総会、理事会、部会運営委員会等	
		事務費	2,316
事業費	10,210	産学官連携促進事業	6,346
		バイオビジネス基礎セミナー	
		研究・技術交流会	
		先進事例見学会	
		びわこバイオ国際セミナー	
		事業化促進事業	2,460
		バイオビジネス展示交流会	
		情報収集提供事業	
		販路開拓・情報発信事業	
		普及啓発事業	1,404
		県民啓発シンポジウム等	
		高校生バイオテクノロジー体験セミナー	
合計	13,927		

「平成19年度事業および予算に向けた主な検討ポイント」への理事会での主な意見
 (平成18年12月20日 平成18年第2回理事会)
は理事会での意見

Ver.2

・全体について

1. 本年度の事業実施状況等を踏まえた見直し
 - ・本年度事業の実施状況、これについての会員の意見も踏まえ、さらに効果的効率的な事業に見直し
地域結集の成果を国の資金も活用してつなげるべきでないか(山田副会長)
目に見える成果を出していく必要がある。(河本副理事長)
バイオマス分解装置のようなものを長浜に設置できないか。(森理事)
企業誘致を進めなければならない。(加藤理事)
2. 経費の削減
 - ・県予算の縮減による県負担金の減額見込みを踏まえ、経費の削減を検討
国際セミナーが予算の多くを占めているが財政事情を考えて事業を行うべき(山田副会長)

・個別事項について

1. 人材育成交流事業

バイオビジネス基礎セミナー

- ・中小企業のバイオへの参入を促すためバイオテクノロジー、ビジネスの知識についてのセミナーを行ってきたが、さらにビジネス促進につながるような事業に見直し検討。
ビジネスマッチングを行うが、環境ビジネスメッセと連携しバイオのメッセができないか(森理事)
ビジネスにつながるようメッセと共同ですればどうか。これは産業化推進部会と考えればよいか(谷口理事)

2. 情報提供・収集事業

県内外への情報発信

- ・長浜バイオインキュベーションセンターの入居企業等新たなバイオビジネスが生まれていることを踏まえ、このビジネスマッチングや販路開拓等のための情報発信を検討。
大学等への紹介の窓口をやってほしい。(浅田理事)
企業の事業内容の整理、どこがなにをやっているかの情報がほしい。(浅田理事、清水理事)

3. 産学官連携促進事業

研究技術交流会

- ・当面テーマを「健康福祉」「農業食品」「環境分析」「機器(仮)」と設定し、県内バイオ関係者の交流の場として実施。実施時期、回数などを検討。
基礎セミナーと対象は異なるものの、テーマ重複がないよう調整が必要(下西理事)

びわこバイオ国際セミナー

- ・世界の最先端のバイオサイエンス・ビジネス情報を、バイオ振興の拠点の一つとしている長浜から発信する趣旨は一定成果。今後滋賀で期待できるバイオのテーマに即した内容、経費の削減、長浜バイオ大学との役割分担などを検討。
ユニークで評価も高いので、継続すべきでないか。(清水理事、郷理事)
情報発信を充実すべきでないか。(郷理事)
もう少し門戸を広げてはどうか。(清水理事)
特定のテーマと連携するとよいのではないか。(長谷川理事、大久保理事)
(環境と連携させるべきではないか。)(郷理事)

4. 普及啓発事業

県民啓発シンポジウム等

- ・県民により身近で親しみやすい内容、方法を検討
特色を考え、また大津以外でも行えないか(長谷川理事)

高校生のためのバイオテクノロジー体験セミナー

- ・高大連携や高校独自プログラムなどが進みつつある中、さらに効果的効率的な内容方法を検討。
高大連携などと違うという特色をだせないか。(長谷川理事)

滋賀バイオ産業推進機構 19年度事業および予算の考え方(案) 理事会参考資料

1. 考え方

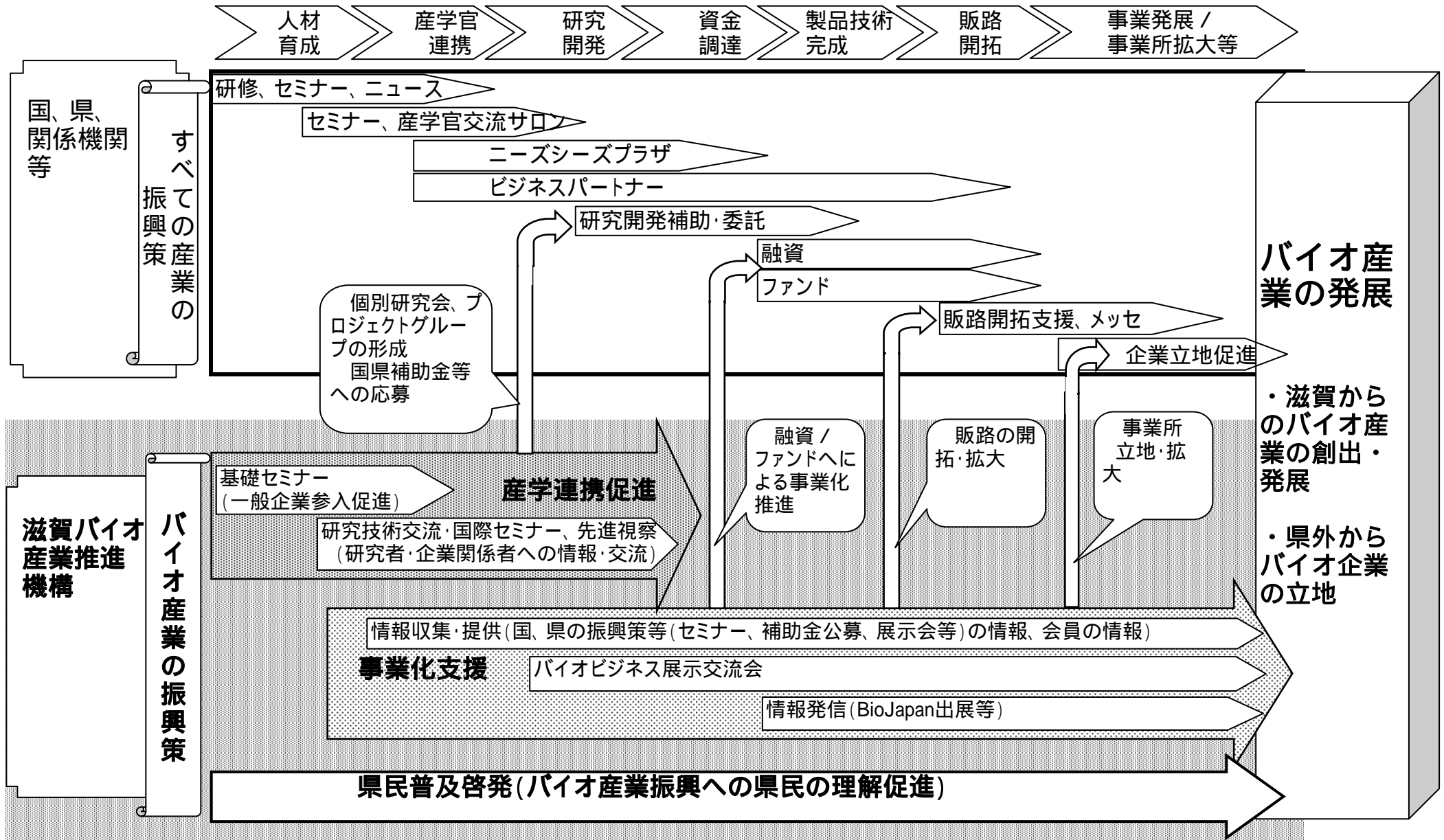
SBOは、びわこバイオステージ構想に基づき、旧3組織の成果を踏まえながら、人材育成、情報提供、産学官連携促進の場づくりを中心にバイオ産業振興に取り組んできた。また、県の経済振興特区、長浜バイオネットワークとも連携し、長浜を一つの拠点として県全体のバイオ振興を図っている。

最近のバイオ関係者の参画・交流の進展、大学の研究開発機能の充実、長浜バイオインキュベーションセンターでの事業化の進展などを踏まえ、バイオ企業・大学と地域企業との連携促進や、滋賀のバイオビジネス情報の発信充実などにより、ビジネス創出や販路開拓など、より事業化に向けた取り組みを県、関係機関と連携し、効率的に進める。

2. 事業・予算(骨子案)



滋賀バイオ産業推進機構の役割



平成19年度 年間事業予定(案)

070315現在

摘要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議費												
総会・記念講演会												
理事会												
部会運営委員会(各部会ごと適宜開催)												
企画運営会議(必要に応じて開催)												
産学官連携促進事業												
バイオビジネス基礎セミナー												
研究・技術交流会												
先進事例見学会												
びわこバイオ国際セミナー												
事業化促進事業												
バイオビジネス展示交流会												
バイオ情報の収集提供												
	会員情報確認、アンケート等											
	ホームページ改訂											
	会員メール、セミナー出席、関係機関企業訪問、資料購入等(随時)											
県内外への情報発信												
	BIO JAPAN(9/19-21 横浜)											
	環境ビジネスメッセ(10/24-26 長浜)											
普及啓発事業												
県民啓発シンポジウム等												
高校生バイオテクノロジー体験セミナー												

関連事業

その他共催、後援事業	適宜-----
参考: 近畿バイオ	近畿バイオフォーラム(京都)?
ABBC講座	5/30 8/3 11/1

第4号議案

滋賀バイオ産業推進機構 役員の選任について

規約第9条の規定により、次のとおり役員を選任する。

任期:平成19年4月1日～平成21年3月31日

区分	所属、役職等	氏名	備考
会長	滋賀県知事	嘉田由紀子	再任
副会長	奈良先端科学技術大学院大学名誉教授	山田康之	再任
理事長	石川県立大学生物資源工学研究所教授	熊谷英彦	再任
副理事長	滋賀県商工観光労働部長	河本光明	再任
理事	洛東化成工業(株)代表取締役社長	浅田博史	再任
理事	滋賀医科大学学生化学・分子生物学講座教授	大久保岩男	再任
理事	長浜市助役	加藤誠一	再任
理事	(株)I.S.T 取締役CEO	阪根信一	再任
理事	慶應義塾大学医学部分子生物学教室教授	清水信義	再任
理事	長浜バイオ大学学長	下西康嗣	再任
理事	(財)サントリー生物有機科学研究所副理事長	田中隆治	再任
理事	立命館大学理工学部応用化学科教授	谷口吉弘	再任
理事	滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科教授	長谷川 博	再任
理事	(社)滋賀経済産業協会会長	廣瀬一輝	再任
理事	特定医療法人社団御上会野洲病院理事長	福井淳博	再任
理事	有限責任中間法人バイオビジネス創出研究会代表理事	森 建司	再任
監事	関西電力(株)滋賀支店長	清水 徹	再任
監事	(株)滋賀銀行専務取締役	大道良夫	再任

現役員中、宮崎正武 滋賀県商工会議所連合会会長、郷通子 お茶の水女子大学長は再任しない。